

6495 LC/TQ

高感度ルーチン分析&研究開発用



- iFunnel を搭載した超高感度トリプル四重極 LC/MS (LC/TQ)
- ルーチン分析からターゲットスクリーニングまで様々なアプリケーションに対応可能

6475 LC/TQ

ルーチン分析&研究開発用



- 高い堅牢性による、環境分析から食品分析まで幅広いアプリケーションで多くの実績
- コストとパフォーマンスのバランスが取れたフラグシップ LC/TQ

Ultivo LC/TQ

ルーチン分析用



- 超小型デザインにより、LC モジュールをスタックすることが可能
- 設置環境が限られたスペースでも MRM 測定による LC/MS/MS が可能

一年中、誰が測定しても同じ結果が得られる
アジレント LC/TQ の革新技術

Agilent VacShield



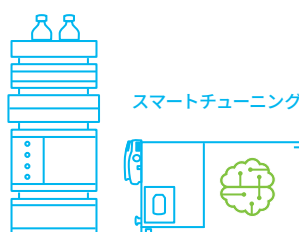
- メンテナンス時間を92 %削減
- LC/TQの真空を開放することなくキャピラリー交換が可能

Early Maintenance Feedback (EMF)



- EMF機能でシステムの状態をリアルタイムで確認
- 予防保全的な装置管理による予期しないダウンタイム削減

スマートチューニング



- 革新的なチューニングアルゴリズムにより、短時間で最高の性能を引き出すパラメータ調整
- 機械学習技術によるスマートチューニングにより、起動時間の短縮、データの一貫性の向上

Agilent Infinity III 液体クロマトグラフ(LC)



- Assist機能がシステムの立ち上げ、分析の準備を自動化
- バルブソリューションによる測定メソッドの切り替え
- 装置前面からすべてのメンテナンスが可能

堅牢なアジレント LC/MS システムによる
水試料、土壌、製品・材料、食品中の
PFAS 分析ソリューション

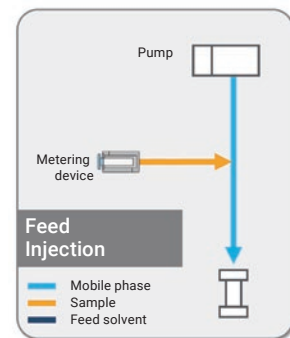


20年にわたる PFAS 分析のノウハウで樹脂製品や半導体材料中 PFAS を検出する LC/MS 技術

PFAS はその難分解性と生物濃縮性、毒性と内分泌攪乱性などの性質が以前より指摘されていましたが、近年、地下水、土壌、飲料水への汚染が注目され、多くの国で新たな規制が導入されつつあります。特に、飲料水中の PFAS 濃度に関する基準が厳格化され、分析の重要性が増加、欧州連合 (EU) が新たな PFAS 規制を導入したり、アメリカ合衆国では環境保護庁 (EPA) が飲料水中の PFAS 基準を見直すなどの動きがあります。同様に、日本でも飲料水や環境水などで PFAS 規制の動きがあります。更には製品・材料中の PFAS についても懸念が示されており、規制対象が増えている状況です。長年培われたノウハウを盛り込んだアジレント LC/MS の PFAS 分析システムは、このような高まる PFAS 分析のご要望に 確実な技術でお応えします。

Feed 注入

溶媒効果を最小限にした
画期的なサンプル注入技術

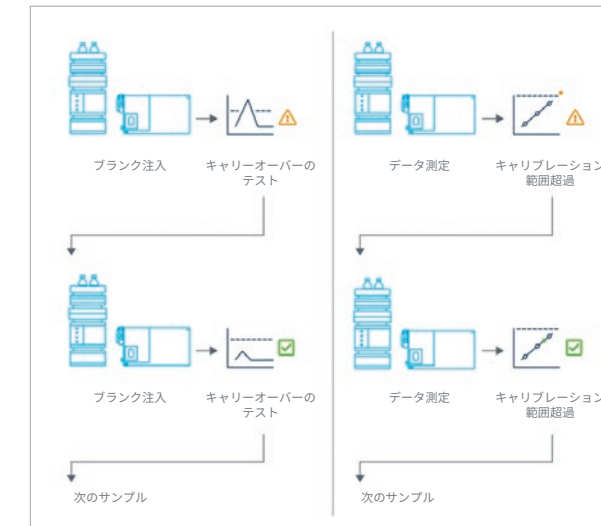


前処理

- 測定対象の PFAS を LC/MS に注入できる状態に処理
- 直接分析、オフライン固相抽出 (SPE)、オンライン SPE 濃縮分析、迅速濃縮分析等に対応

ディレイカラム

システム由来の PFAS の干渉を防ぎ、
試料中の PFAS を正確に測定



Intelligent Reflex

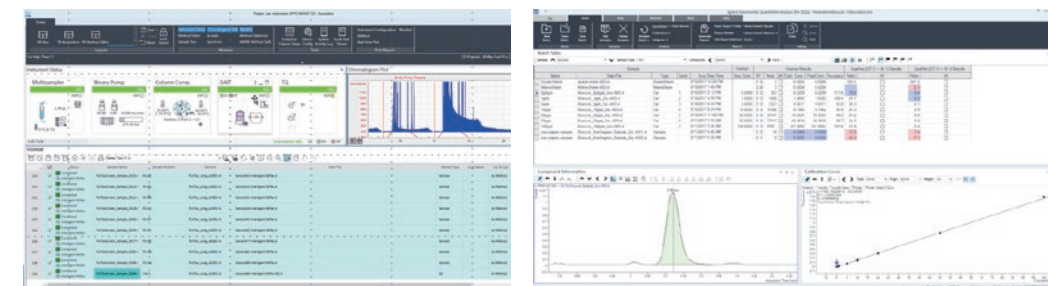
PFAS 分析で重要となるブランク確認
LC/MS で測定した空試験結果をもと
に、LC/MS がブランクレベルを判断
して自動再測定

データ解析

- LC/MS 測定で得られたデータから PFAS の各成分の
定量値を計算

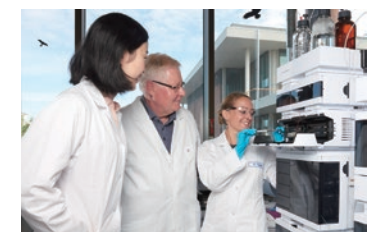
LC/MS測定

- 液体クロマトグラフ (LC) と質量分析計 (MS) を組み合わせた LC/MS システム
で測定
- PFAS の各成分が良好なピーク形状を
保つ Feed 注入
- MRM 測定で対象の PFAS 成分を高感
度検出



MassHunter ソフトウェア

メソッド設定からレポート出力まで、初心者でも使いやすいユーザーインターフェース



PFAS 分析メソッドサポート

メソッド測定から日々の測定の
注意事項まで安心してご使用い
ただけるサポートを提供



PFC フリー消耗品

製造時に LC/MS で PFC のブランクを確認した SPE カートリッジやバイアル
PFAS のバックグラウンドを気にせずに日々の測定が可能